

第2学年 生活科「自分はっけんブック」
0歳から7歳までの記録を自分でまとめていく学習で活用しました。授業の始めに自分でめあてを決め、一人一人の進捗状況や友達の進み具合も一目でわかり、わからない時は同じ進み具合の友達と互いに助け合うこともできました。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

印西市立大森小学校（千葉県）【指定校】

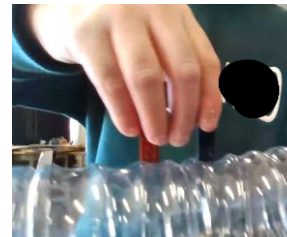
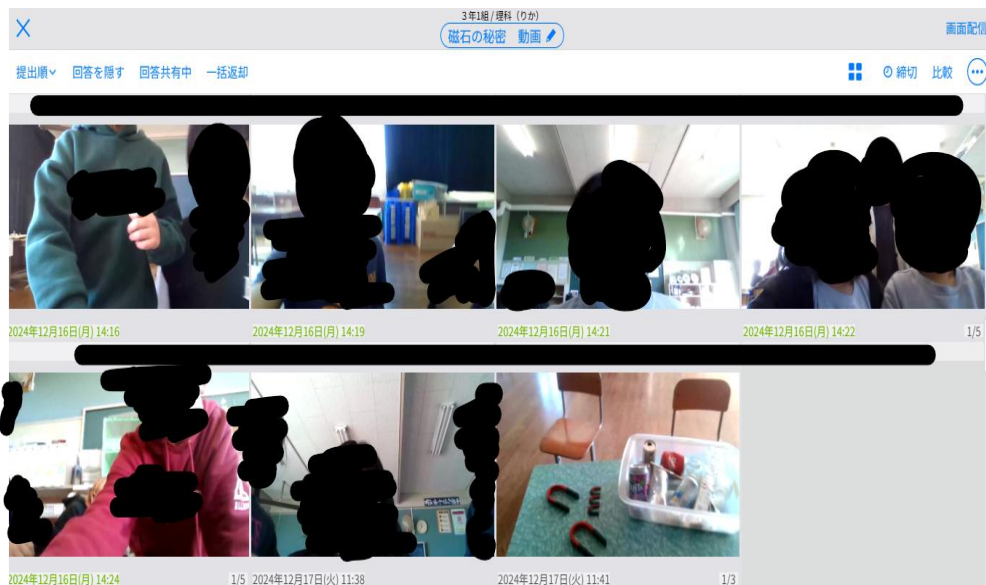
【取組内容】『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実

3年 理科「じしゃくのふしぎ」

単元の導入時に全体で磁石に対する不思議を洗い出し、単元内の課題としました。

次時から自分で取り組みたい課題を選び、各課題解決のブースに分かれて取り組ませ、課題が解決した際には「課題、実験方法、予想、結果、考察」を踏まえた紹介動画を作成しました。迷ったり困ったりしたら、別の課題から取り組んで視点を養ったり、同じブース内の児童と協力したり、他の児童の紹介動画を見たりして、解決につなげました。

実験中に新たに出てきた不思議は、必要に応じて共有する場を設けて全体で新しい課題としたり、個別に探求させて結果を紹介させたりしました。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

印西市立大森小学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の育成

11月										
時限	日時	学年	先生	支援内容	日時	時限	学年	先生	支援内容	
1	8:35～9:20	1		点つなぎ・タングラム・形パズル	19日	1			クリスマスポスター	
2	9:30～10:15	2				2				
3	10:35～11:20	3				3			マイクロビットでおみくじ・割合(グラフ)	
4	11:30～12:15	4		国語の作文を...書いています。前半作文の続きで、後半、共有ノートをお願いしてもいいですか？ *承知いたしました！ 貴席		4			他已紹介	
5	13:40～14:25	5		はたらくじどう車カードの写真検索取り込み		5				
6	14:35～15:20	6				6			ドキュメント見本通りに作ってみよう！	
放課後 その他		放課後 その他				放課後 その他				
↓問い合わせなどございましたら、こちらに書き込みをお願いします。↓					↓問い合わせなどございましたら、こちらに書き込みをお願いします。↓					
内容					内容					



ICT支援員と連携し、月に一度全学級（特別支援学級を含む）に情報活用能力の育成の時間を設けました。

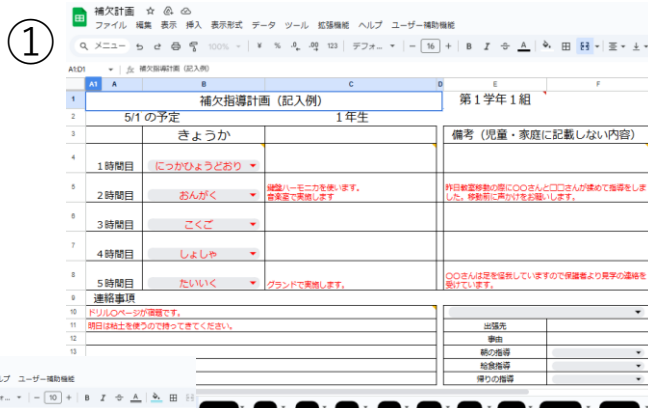
デジタルホワイトボードアプリやプログラミングアプリなどを用いることで、低学年では季節ごとのイベントを取り入れ、楽しみながら情報活用能力の育成に努めることができました。

また、この取り組みを実施することにより、基本的な操作の習得を図ることができました。高学年では、日常的な授業場面において、スライドやドキュメントの活用にもつながりました。

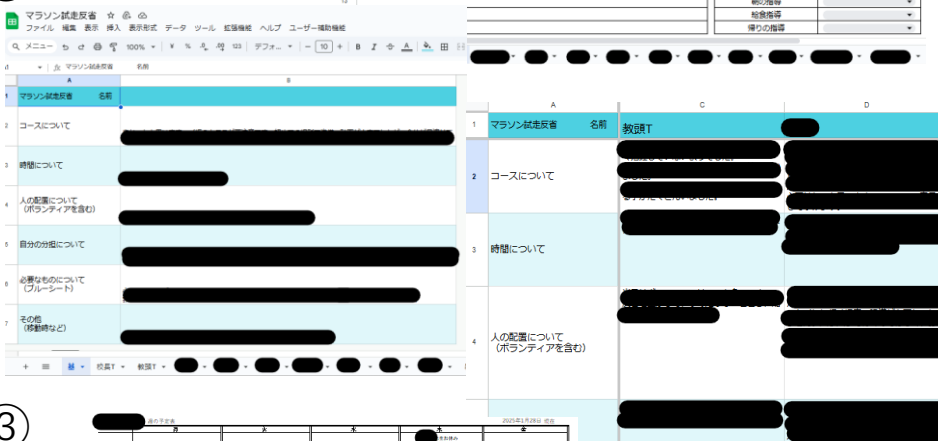
リーディングDXスクール事業【実践事例】

印西市立大森小学校

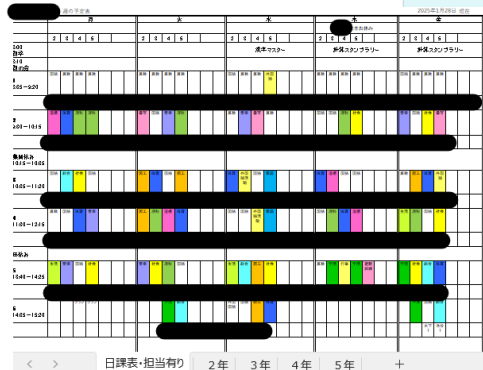
【取組内容】スプレッドシートやExcelを活用した校務DX



②



③



①補欠計画のデジタル化

急な休みの時にも、どこからでも補欠計画が立てられ、補欠人員も立てやすいため、便利でした。

②各行事の反省のデジタル化

運動会やマラソンなどの行事の反省をスプレッドシートで入力。職員全員の反省点などを集計して確認することができるため、話し合いの時間が短縮しました。

③週予定の効率化

特別支援学級において、複数の学年が在籍していると、週の予定や介助員の配置が大変です。そのような時にExcelを活用し、既存の週案のデータを各担任の先生に貼ってもらい、自動集約できるようにしました。一つ一つ手入力をするより、圧倒的な時間短縮につながりました。